

【常任委員会 審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、
議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告しました。

学校設置条例の一部改正が可決され、 三条小学校の吸収統合決定

総務文教
常任委員会

笹川信子 委員長

議第6号三条市立学校設置条例の一部改正についてでは、地域団体からの陳情書に対する対応について、経年劣化対策を含め教育委員会で検討したが、対策を行っても文部科学省が求めている1s値0.7以上をクリアできないため見送りさせていただいたとのことでした。

また、条例の議会提案時期について、三条小学校は補強が困難なため、通っている子どもたちの安全を確保するためには時間をかけることは最良でないと判断したこと。また、

特別支援や通級教室といった障がい教育にも力を入れている学校であり、議決を頂いた後でないこと調整に入れないこと、予算にも関わってくることを総合的に判断し今回お願いしているものであり、議決後子どもたちの交流やPTA関係の話し合いの場を持ちたい。今回の安全性が確保できない場合の基準であればこの形が最良と考え進めているとのことでした。

議第25号平成27年度三条市一般会計補正予算では、選挙管理委員会費に関連し、投票率の向上について、対象となる年齢層限定での啓発は難しいが、基本的に学校等への出前事業などの啓発活動を行っていききたいとのことでした。



特殊詐欺等による被害の防止を！ 3月末まで通話録音装置の設置に補助

市民福祉
常任委員会

岡田竜一 委員長

議第4号三条市個人番号の利用に関する条例の一部改正についてでは、個人番号を利用する事務の追加および他の機関との情報連携により、各種手続きの際、市民は書類を添付する手間が省け、市はよりスピーディーで確実な事務が行えるようになるとのことでした。

議第25号平成27年度三条市一般会計補正予算の総務費では、通話録音装置普及促進事業補助金について、新潟県の無償貸与モニター事業のアンケートでは、ほとんどの利

用者が「不審電話がなくなった、または減った」、「安心できた」と回答している。広報さんじょう、防犯協会等を通じて周知を図る予定であるが、設置が必要な人への個別の働き掛けも民生委員にご協力頂くなどの工夫をしていきたいとのことでした。

また、衛生費では、訴訟で要した弁護士費用を税金から支出しなければならないことについて、弁護士費用は、民事訴訟法が敗訴の当事者の負担と定めている訴訟費用に含まれず、勝訴した場合も相手方に請求できないため、大変遺憾であるが市が支出せざるを得ないとのことでした。



三条市のものづくりの価値を高める 三条ものづくり学校には設備投資も必要

経済建設
常任委員会

山田富義 委員長

議第1号三条市保内地区交流拠点施設条例の制定についてでは、施設が赤字の場合、市は補填せず指定管理者の自主事業の売り上げで賄ってもらうが、黒字は企業努力の結果であるとのことでした。

議第5号三条市ものづくり拠点施設条例の一部改正についてでは、当該施設は三条市のものづくりに関心を集めたり、付加価値を持たせたりといった活動も行う公の施設であり、貸事務所の増設費用は設備投資と

して市が負担する。増設の是非は地域のために設置している集会室や会議室の利用状況を見ながら総合的に考えていきたいとのことでした。

議第19号名目多目的集会所の指定管理者の指定についてでは、当該施設は旧下田村が建設した経緯から現在も市の施設となっているが、この形態には問題意識を持っており、今後5年間で方向性を出していきたいとのことでした。

議第25号平成27年度三条市一般会計補正予算では、農林水産業費の農地集積協力交付金について、趣旨である農地の集積が市の役割と認識しており、受け入れ以降の農作業等の進め方は集落の中で話し合うと伺っているとのことでした。



議会運営委員会

10月27日



◎佐藤和雄、○名古屋豊、野崎久雄、岡田竜一、横山一雄
武藤元美、笹川信子、長橋一弘

○一般質問は1日4人
○議会運営と音声認識システム(佐渡市)

佐渡市では、一般質問の通告は定例会招集日4日前の午後3時に締め切り、1日4人として3日または4日の日程で行い、発言順序は通告順で1人当たりの所要時間は平均90分となっているそうです。

常任委員会は、3つの常任委員会が同時に開催され、1つの課に対しておおよそ2時間、3日または4日の日程で審議を行っていました。
平成23年には、本会議の議事録作成の支援として音声データを活字に変換する音声認識システムを導入し、これまで次期定例会中の製本完成、配布で

総務文教常任委員会

11月18日～20日

◎笹川信子、○小林 誠、佐藤和雄、下村喜作、阿部銀次郎
杉井 旬、横山一雄、長橋一弘

あつた議事録が、1カ月ほど早く出来上がるようになり、スムーズな情報公開に役立てておられました。
また、この音声認識システムは、マイク設備などの整った理想的な環境下では80%の認識率とされ、同音異義語



佐渡市役所にて

が少ない欧米系の言葉では90%の認識率のものもあるが完璧なものはなく、佐渡市における認識率は確認していないとのことでした。なお、処理に要する時間は、会議に要する時間と同じくらいかかるそうです。
今後、この視察を参考に議会運営を行っていききたいと思えます。

◎国家試験の合格率100%
○川口市立看護専門学校について
(埼玉県川口市)

川口市では、昭和44年に市立病院の付属高等看護学院を開設し、平成5年に市立看護専門学校と名称変更を行



川口市 看護専門学校の校舎内

い、現在は正看護師を目指す第1学科と准看護師が正看護師を目指す第2学科の2学科構成で、埼玉県内で唯一第2学科の夜間定時制コースを設け、看護師教育を行っています。また、実習施設は隣接の市立医療センターとし、学校と医療センターが一丸となり学生の教育に当たり、常に全国平均を上回る国家試験の合格率(近年は100%)を実現するなど、看護人材の確保に取り組んでいました。